

長野県松本市島立（町区）における比喩語

沖 裕子

はじめに

1. 調査対象地：松本市中心部から国道158号線で約5キロほど西に行ったところ。安曇平へと続くひろがりのある平らな土地にある。数年前、長野自動車道のインターチェンジが、集落の東約1キロほどのところに開通し、158号線は松本市内へのアクセス道路として使われるようになった。旧町名は東筑摩郡島立村町区。昭和29年に合併して、現在は松本市島立となった。まとまりのある農業集落。現在106戸。以前は、全戸が米作農家であったが、現在は専業農家が4割ほど。あとは兼業農家である。松本駅から、松本電鉄上高地線が1時間に1本（ないし、2本）走っている。それで10分ほど。
2. 調査年月日：1992年9月19日 午後2時10分～4時
3. 話者：亀井規素子氏 昭和5年2月18日生（62歳）
移動歴なし。数代前からの造り酒屋である亀田家に生まれ、育った。
4. 調査者・調査場所：沖 裕子。話者自宅。
5. 調査方法：質問法によった。調査票以外で得られた語形には、*をつけて記した。

I 自然現象

- | | |
|--------|-------------------|
| 1 日照り雨 | トーリアメ
キツネノヨメイリ |
| 2 入道雲 | ニュードーグモ |
| 3 旋風 | ツムジカゼ |
| 4 霜柱 | シモバシラ |
| 5 つらら | ツララ
アメンポー(1) |
| 6 北斗七星 | ホクトシチセー
ヒシャクボシ |
| 7 昴 | NR |
| 8 流れ星 | ナガレボシ
ホーキボシ(2) |

*ミツボシ（オリオンの中に三つならんだ星）

*キバナ（木花。雪が降って急に冷え込んだ時、その雪が木の枝についたもの。）

- (1) 話者の意識では「鉛の棒」。○アメンポー オショッテ ナメタリ シマシタヨ。
(つららを折ってなめたりしましたよ。)
- (2) 話者は小学生の頃次のようなことを聞いたという。○マジョガ ノッテイク ホ
ーキボシダ。(魔女が乗っていくほうきばしだ。)

II 動物

- 9 かわはぎ カワハギ(1)
 10 ひらめ ヒラメ(1)
 11 ひきがえる ヒキガエル(2)
 12 青大将 ヘビ(3)
 13 とかげ トカゲ
 カメチョロ(4)
 14 かまきり カマキリ
 15 みずすまし ゲンゴロー
 16 きつつき キツツキ
 17 せきれい セキレイ
 18 ふくろう ミミズク
 フクロー、フクロー

*シマヘビ(しまへび)

*ヒアカリ(茶色で小さい30センチくらいのへび。昼間出てくるが、目がよくみえない。)

*ヤマッカチ(毒があるへび。お腹が黄色くて模様があり大きい。やまかがし。)

- (1) 話者が子供の頃は、そのものを知らなかった。終戦後に入ってきた。
 (2) ヒキガエルは掌二つ分ほどの大きさの蛙。卵ぐらいの大きさの蛙は、ガマガエル。
 これをドンビキと言う。ヒキガエルはあまり見かけない。ドンビキは田にいる。
 (3) 青大将は実際には見たことがない。シマヘビ、ヒアカリを見かける。
 (4) 亀のような顔や手の感じで、チョロチョロ動くから。

III 植物

- 19 馬鈴薯 バレーショ(1)
 ナツイモ(1)
 ジャガイモ
 20 とうもろこし モロコシ
 21 いんげん豆 ササゲ<多>
 インゲン<共通語>
 22 そら豆 ソラマメ(2)
 23 木くらげ キクラゲ

24	げんのしょうこ	ゲンノショーコ
25	どくだみ	ドクダミ
26	いたどり	イタドリ(3)
27	からすうり	カラスウリ
28	すみれ	スミレ
29	春蘭	シュンラン
30	母子草	ハハコグサ(4)
31	ねむの木	ネム

- * サルノコシカケ (さるのこしかけ)
- * スイコ<多>, スイバ(5) (すいば)
- * チッコ<多>, チチコグサ(6) (父子草)
- * チョーチンバナ<多>, トーローバナ (つりがね草)

- (1) 小さいころは、パレーショということが多かった。近所の人はナツイモを使うことが多い。ナツイモは、夏にとれるから。オイモといえば馬鈴薯のことを指す。
- (2) そら豆はここらへんでは作っていない。
- (3) 子供の頃、塩をつけて食べた。ちょっとスミ(酸味)がある。川原に生えている。イリドリとスイコ(スイバ)(5)とは異なる。
- (4) 白い花がハハコグサ。黄色い花はチッコ(6)。
- (5) スイコの方がイタドリより細く、塩をつけて食べるとスイ(すっぱい)。スイバともいう。スイバは、酢葉。スイコワ スイ スイと言って歌った。田の畦に生える。
- (6) 茎を折ると乳が出るからチチコグサと言う。チッコと言うことが多い。

IV 性向

32	熱しやすくさめやすい人	アキッポイ
33	あわてん坊	アワテモノ アワテンボー
34	動作の鈍い人	ノロマ
35	嘘つき	ホラフキ(1) ウソツキ(1) センミツ<聞>(2)
36	ほらふき	ホラフキ オーブロシキオ ヒロゲル
37	おしゃべり	オシャベリ
38	冗談言い	アノヒトワ ダジャレオ イウ
39	口先だけの人	アノヒトノ イウコトワ クチサキダケダ
40	とんちんかんなことを言う人	NR

- 41 のらりくらりと煮えきらない人 アノヒトノ イウコトワ ノタノタシテル
 42 怒りっばい人 タンキダ
 オコリッポイ
 カンシャクモチダ
 43 気むらな人 ムラッキ
 オテンキヤサン
 44 泣き虫 ナキベソ
 45 おてんば娘 アノヒト オトコミタイダ
 46 腕白坊主 イタズラポーズ, イタズラッコ, オイタポーズ(3)
 ガッタポーズ
 アノヒトワ ガッタダ
 47 出しゃばり デシャバリ
 48 どこへでも顔を出す人 デシャバリ
 49 家にこもって外出しない人 ヒッコミジアン
 50 小心者 キガ チーサイ
 51 内弁慶 ウチベンケーノ ソトジゾー
 ソトジゾー(4)
 52 人づきあいをしない人 ヒトツキアイガ ワルイ
 53 妻に対して頭の上がない男 NR(5)
 54 けち ケチ
 ケチンポー
 シワイ
 55 欲張り ヨクバリ<多>
 ヨクノカワガ ツッパッテル
 ヨクドーシー<聞>(6)

*グズ(何かをしなければならない時に躊躇しているような人。)

*オキキャン(落ち着きがなくて元気な子供、女の子。おてんばとは異なる。)

*カカーデンカ(妻の方が強い夫婦の状態。)

- (1) ホラフキの方が、ウツキより柔らかい感じがする。
- (2) センミツは、自分では使わない。千に三つしか本当のことを言わないという意味。
- (3) オイタポーズは、そういう赤ん坊を指す。
- (4) ウチベンケーノ ソトジゾーを略したもの。
- (5) そういう状態は、カカーデンカと言う。
- (6) 自分は使わない。近所の人が言うのを聞く。明治元年生まれの松本市山辺出身の祖母は使っていた。

V 食生活

- 56 大食漢 タイショッカン
オーグイ
- 57 ぼたもち アンコロモチ(1)
ボタモチ(1)
- 58 砂糖味が薄い アマクナイ
サトーヤノ マエデオ ヨコメデ トーッタ(2)
- 59 塩味が薄い
- 60 大酒飲み オーザケノミ
サケノミ
- 61 酒に酔ってくだをまく サケグセガ ワルイ
- 62 酒に酔って顔が赤くなる、キントキノ カジミマイ<多>(3)
そのさま キントキ

* オハギ(4) (おはぎ)

* ウマノシヨンベンジル(5) (馬のしょんべん汁。薄い味噌汁のこと。)

* ジャノメジル(5) (蛇の目汁。薄い味噌汁のこと。)

* シオヤエ ヨリスギタ (塩屋へ寄りすぎた。しょっぱすぎた場合を言う。)

* サケオ コロシテ ノム (酒を殺して飲む。酔わないようにして酒を飲む)

* ゴキズリ(6) (胃が悪い時などに、口のまわりにできるきもの)

* テッコモリ (飯の山盛り)

(1) ボタモチより、オハギ(4) をよく作る。ボタモチは、餅をつかなくてはできないのでよほどのことがないと作らない。

(2) 次のように使う。○サトーヤノ マエデオ ヨコメデ トーッチマツクモンデ アマクナイワ。(砂糖屋の前を横目で通ってしまったので甘くない。)

(3) 金時の火事見舞い。たいへん顔が赤い。

(4) モチゴメ(もち米)とウル(うるち)をつぶして作る。ボタモチよりオハギの方をよく作る。話者の意識では、ウルとモチゴメをハグからオハギ。

(5) ウマノシヨンベンジルよりジャノメジルの方がきれいな言い方。ジャノメジルは、蛇の目傘のように味噌がこずんで見えるから。○マルッキリ スンジャッテルノコト。(完全に澄んでしまっているののこと。)

(6) 話者の意識では意味不明。御器ずり(器がすれてできた)という比喩語か?

VI 動作・様態

63 恥ずかしくて顔が赤くなる、そのさま NR

64 どしゃぶりの雨 ドシャブリ, ドシャブリダ

65 ずぶ濡れ・びしょ濡れになる、ビショビション ナック

- そのさま
- 66 服装がだらしのないさま
ヌレネズミニ ナッチャッタ
ダラシナイ
オビトキマエ(1)
- 67 髭がのび放題なさま
ブショーヒゲ
- 68 厚化粧をしている人
アツク カベ ヌッテルネ
- 69 背丈の高い人
オーオンナ, オーオトコ
ノッポノ ヒト
デンシンバシラニ オビ シメタ ヨーダ(2)
オデコ
- 70 出びたい
アセ タラタラ デタ
- 71 汗がひたいから流れ落ちる
メオ マルク シテタ
- 72 目を丸くする
ツノックチ<多>(3)
- 73 口をとがらす
ツノックチシテ オコル
クチ トガラセテ オコル
クチ トンガラカシテ オコル
- 74 焦げ臭いにおい
コゲックサイ
キナックサイ(4)
- 75 遠廻り(をやる)
トーミチ
トーマワリ<多>
- 76 末っ子
ネコノシッポ(5)
- 77 一生懸命頑張る
セーオ ダス, セー ダス
- *ブスツツラ (だまって知らん顔して、話にもものってこない人のこと。)
- *イボ ツル (怒る)
- *カス コク (つまらないことを言う。子供同士で使った。コクは言う。)
- (1) 子供が、サンジャクを付けずにツケヒモだけでいる状態。ツケヒモだけだと前がは
だけるから。次のように使う。 ○オビトキマエデ ダメダヨ。
- (2) 顔だちについても言う。いつも怒っているような顔立ちの人。
- (3) ほめ言葉としては使わない。ずんどうで、ひよろ長いだけの人を指して言う。
- (4) キナックサイは、火事が鎮火してまだ少しくすぶっている時のにおい。
- (5) 猫のしっぽ。少しからかうようなニュアンス。

(おき ひろこ 花園大学文学部)